

心かさねあう歌を求めて

いきる いのる ねがう

—作曲家上田益の世界

「神戸ルミナリエ」「レクイエム・プロジェクト」の
作曲家が語る いのちと鎮魂の音楽の軌跡

演奏 **Vox Humana** ヴォックス・フマーナ

緋田芳江 (Sop.)

栗木充代 (Alt.)

岡本雄一 (Ten.)

緋田吉也 (Bas.)

ピアノ・お話 上田^{すずむ}益

トークゲスト 秋田光彦

浄土宗大蓮寺・浄土宗應典院住職

秋田光軌

浄土宗大蓮寺副住職

浄土宗應典院主幹

COMMONS
FESTA

COMMONS FESTA 2019 参加企画

プレトーク

1月19日(土) 午後7時

コンサート&トーク

1月20日(日) 午後1時

一日フリーパス券

一般 1800円

應典院寺町倶楽部会員 1400円

四日間フリーパス券 3000円

應典院寺町倶楽部会員 2500円

チケット予約サイト(11月17日発売開始)

<https://www.quartet-online.net/ticket/cf2019?=@0kadggh>

会場 浄土宗 **應典院本堂**

〒543-0076 大阪市天王寺区下寺町 1-1-27

問合せ tel 090-9717-3483 (ホシノ)

Facebook ページ /ikiru.inoru.negau

主催 應典院寺町倶楽部

協力 浄土宗應典院

out(en)in

應典院寺町倶楽部

豊かなキャリアを その才能だけではなく
 人とのつながりと努力で築いてきた作曲家にとって
 1995年 阪神淡路大震災は多くの人々同様
 大きな転換点となりました。先の見えない苦しみを前に
 「音楽に何が出来るのか…？」自身への問いかけは
 20年にわたる神戸ルミナリエの会場音楽作曲や
 災害被災地、戦禍の地で市民合唱団が追悼曲を歌う
 「レクイエム・プロジェクト」へ結実していきます。
 「追悼から希望の光へ」「大切ないのちへの思い」
 音楽を通して 思いを重ね共有し合い
 人々と地域がつながる…

今回は その楽曲を声楽アンサンブル「ヴォックス
 フマーナ」と作曲家自身のピアノで演奏。会場は
 仏教を現代社会にひらく新しい都市型寺院 應典院。
 トークゲストに秋田光彦師、秋田光軌師を迎え
 芸術 宗教 社会を縦横に語り合います。

上田 益 (1956年大阪生まれ)
 京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒、広瀬量平氏
 に師事。京都音楽協会賞受賞。1980年度文化庁芸術
 家国内研修員。広島アジア競技大会(1994)開会式・閉
 会式、長野オリンピック(1998)公式楽曲をはじめとす
 るイベント音楽、オーケストラ・演劇・舞踊のための委
 嘱作曲、TVドラマ、番組テーマ曲、アニメ番組音楽な
 ど、作曲家およびサウンドプロデューサーとして多方
 面で活躍。震災10年目から始めた神戸での追悼コン
 サートがきっかけとなり、神戸、佐用、長崎、沖縄、東京
 などでレクイエム・プロジェクトを立ち上げる。東日本
 震災の後、東北各地にもプロジェクトの活動は広がり
 レクイエム(「鎮魂曲」の意。上田作曲・ラテン語歌詞)
 と、地元の詩人(和合亮一他)の作詞、上田の作曲によ
 る合唱曲を演奏するコンサートが継続的に開催され
 ている。このプロジェクト各地から集合した合唱団を
 率い2012~16年ヨーロッパを巡演し、16年にはパチ
 カン・聖ピエトロ聖堂のミサほかイタリア各地の聖堂
 で演奏。自作曲「ミサ・プレヴィス」をフランススコ法王
 に献呈する栄誉を教皇庁から与えられた。2019年
 にはポーランド公演を予定。

artwork by 瑞光susumu ueda

秋田光彦 (1955年大阪生まれ)
 浄土宗大蓮寺、浄土宗應典院住職。
 名利大蓮寺に生まれ、東京で映画プロデューサーとして活躍後、
 大阪へ戻り、浄土宗僧侶資格を取得。1997年に塔頭・應典院を
 劇場型寺院として再建。以後20数年にわたって、「協働」と「対話」
 の新しい実践にかかわる。相愛大学人文学部客員教授、アート
 ミーツケア学会理事なども務める。著作に「葬式をしない寺」
 「今日は泣いて、明日笑いなさい」編著に「生と死をつなぐケアと
 アート」、1月発行の筑摩新書「社会をつくる仏教」にも寄稿して
 いる。パドマ幼稚園園長も兼ねる。

秋田光軌 (1985年大阪生まれ)
 浄土宗大蓮寺副住職、浄土宗應典院主幹。大阪大学大学院文学
 研究科博士前期課程修了(臨床哲学)。仏教のおしえを伝えながら、
 死生への問いを探求する場づくりに取り組んでいる。

Vox Humana (ヴォックス・フマーナ)
 ヴォックス・フマーナはラテン語で「人の声」を意味する。
 ルネサンスからバロック期の宗教曲を中心にヴォックス
 ・フマーナ(人の声)によってヴォックス・チェレスティス
 (天の声)を表現することを目標とし、演奏活動を行って
 いる。神戸ルミナリエ・オリジナル音楽では1999年より
 声楽アンサンブルを担当している。「追悼コンサート〜
 いのりのとき〜」への出演や日本クラウンより発売され
 たCD「アジア・リラックス」に上田益作曲・アレンジの
 2曲を歌い収録、また上田益「そらとうみのあいだ」でも
 重要な役割を担っている。

浄土宗應典院は、大蓮寺三世誓尊在座の隠居所として1614年に創建された
 大蓮寺の塔頭寺院です。1997年に再建される際、一般的な仏寺ではなく、か
 つてお寺が持っていた地域の教育文化の振興に関する活動に特化した寺院と
 して計画され、(気づき、学び、遊び)をコンセプトとした地域ネットワーク型寺院と
 して生まれ変わりました。



1998年から劇場寺院「應典院」を舞台に開催されている「コモンズフェスタ」は、
 應典院寺町倶楽部主催によるアートと社会活動のための総合芸術文化祭です。
 コモンズとは英語で共有の財産、フェスタとはイタリア語でお祭り、という意味です。
 互いの知恵や人脈を共有し、認識や発想をより豊かにすることを目指して開催し
 ています。今回は、公募による多彩な企画に、フリーパス券で参加できます。

浄土宗應典院

〒543-0076 大阪市天王寺区下寺町1-1-27
 tel:06(6771)7641
<http://www.outenin.com/>

「下寺町(したでらまち)」の交差点を越えると、「パドマ幼稚園」という建物が
 左に見えます。その建物を越えて直ぐの、鉄とガラスとコンクリートで出来
 た建物が應典院です。向かい側(西側)は学校(大阪市立高津小学校)
 です。もし、近くで分からなければ「06(6771)7641」にお電話いただくか、
 「パドマ幼稚園はどこですか?」と、お近くの方におたずね下さい。
 お客様用の駐車場を用意させていただいておりませんので、お車でお越し
 の際には近くのコインパーキング等をご利用ください。



■大阪メトロ各町線「各町六丁目駅」徒歩出口より西へ8分
 ■大阪メトロ御堂筋線「日本橋駅」徒歩出口より東へ8分

